



岩手を守り、日本を変える。

りっけん いわて 県連通信 No.12 2022.4.7号



一関市での災害調査 3月28日



内閣府に対し要請する
木戸口議員 3月30日

「木戸口議員動く～地震被害で国に現状訴える～」

先月発生した福島県沖を震源とする地震について、一関市など岩手県南部でも被害が拡大していることから、木戸口参議院議員は内閣府に対し、支援の要請を行った。木戸口参議院議員は、奥州市と一関市を調査した状況について、写真などを示しながら現状を説明。震源に近い福島、宮城だけでなく岩手でも住家や公共施設に大きな影響が出ているとしました。その上で農業用施設などはこれから被害が判明することが予想されることから、福島、宮城と歩調を合わせた支援対策を求めました。また、被害を受けた住家は高齢世帯が多く、「あと何年生きるかわからない。壊れても我慢していくしかない」「家を継ぐ子供たちも外に出ていったし、住宅にこれ以上お金をかけていけない」という被災者の切実な声を紹介し、少子高齢化と人口減少の進む地方での災害支援の課題認識を示し、こうした実態に即した支援策を早急に講じるよう迫りました。

「きどぐち選対、各地で構築。決戦にむけ準備進む」

参院選まで3か月近くとなり、各地で選対本部が立ち上がっています。1区では2月12日に、3区でも3月19日に設置された。2区では広い面積を有することから各地域ごとに選対が構築されており、これまでに久慈、八幡平、岩手、滝沢などで体制がスタートし、今月中にも全域で再構築される見込みです。県連選対本部では、推薦団体や支持者への働きかけを重視しており、「岩手の実態を理解し、現場の声を実現される政治を選ぶのか、東京のやり方を押し付ける政治を選ぶのかの戦い」だとして黨員一体となった動きで、必ず再選を果たす考えです。また、新たな2連ポスターも完成。木戸口議員と達増知事のポスターを一枚でも多く貼るべく、協力をお願いします。

参院選公示まであと**76日** (予定)

岩手を守り、
日本を変える。
立憲民主党

岩手を守り、
日本を変える。
立憲民主党